



©www.halle58.ch

©www.halle58.ch

持続可能な
環境共生のある暮らしと
ドイツ・スイスの
最新エコロジー建築の旅

第19回 ドイツ・スイス エコバウ建築ツアー2015

ツアープログラム / 申込書

South Germany & Switzerland

2015.9.13 (SUN) - 9.21 (MON)



South Germany & Switzerland 2015.9.13 (SUN) - 9.21 (MON)



持続可能な環境共生のある暮らしと
ドイツ・スイスの
最新エコロジー建築の旅

第19回 ドイツ・スイス エコバウ建築ツアー 2015

South Germany & Switzerland

2015.9.13 (SUN) - 9.21 (MON)

今年のツアーは、南ドイツ ミュンヘンから旅を始め、スイス チューリッヒ、ベルンへと歩みを進めていきます。南ドイツでは、パッシブ基準をクリアする建築の視察や、コミュニティ活動とのふれあいから、後世に残すべき建築のあり方を学びます。スイスでは、環境ジャーナリストの滝川 薫様をコーディネーターに迎え、スイス漆喰のメーカー協力による施工物件の視察や、スイスのエコ住宅であるミネルギー・P・エコ住宅の視察、省エネ化政策のレクチャーを踏まえて、これから進むべき日本の家づくりのあり方を学んでいきます。

ドイツでは、次世代省エネ基準の先をゆく省エネ住宅 パッシブハウスの義務化が始まり、各先進国で進むCO₂削減の重要な政策の要として、当然日本の建築でもスタンダードとなることが予測されます。今年の4月から本格的にスタートを切った省エネ基準の改定や、2020年の新築住宅 省エネ義務化を見据えた動きはこれから益々本格化し、日本の家づくりへの考え方が大きな転換期を迎えているのではないのでしょうか。日本の家づくりのあるべき姿とは？後世に残すべき建築のあり方とは？持続可能で自然と寄り添う家づくりのあり方を、旅を共にする仲間達と一緒に考えを深めてみませんか？

志を共にする仲間達と一緒に、
建築からはじまるエコロジーを体感する旅へ。



POINT 1 関係者の解説付きでの 豊富なエコ建築の視察

建築に携わった関係者が合流し、設計コンセプトや構造、性能を説明してくれます。建築に関わった現地スタッフから貴重なお話が聞ける機会です。



POINT 2 パッシブハウス、エコ建築を 肌で感じる

そこに暮らす人たちがや建築士の立会いのもと、エコロジー住宅・建築を視察します。また、エコロジーなコミュニティを広げる住民達との交流は、持続可能な暮らしを肌で感じる機会です。



POINT 3 同じ志を持つツアー仲間と 未来の建築を考える

これからの日本の住宅・建築を考える志の高いツアー仲間との旅は互いに刺激し、共感することばかり。だからツアーに参加された方々は、帰国後も交流を持たれています。



個人では手配できない建物内部の視察もあり、大変充実した内容です。

第19回 ドイツ・スイス エコバウ建築ツアー 2015 日程表 2015年9月13日(日)～ 21日(月)

日付	場所(通称)	プログラム
9/13(日)	NRT(成田)・KIX(関西)	成田・関西から出発～ドイツ ミュンヘンへ ホテル到着後 ウェルカムパーティ
9/14(月) 	ミュンヘン ノイフェールン (グリム伊智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘルツ主イエスの教会 Herz Jesu Church ■ オフィスプロジェクトのプレゼンテーション ■ オスカーマリアグラフ体育館(OMG) ■ 木造建築のパッシブソーラーハウス    
9/15(火) 	ミュンヘン アウクスブルク (グリム伊智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 戸建住宅展示場 ■ 木造建築の学校管理棟 ■ 教会   
9/16(水) 	クラウス ザンクト・ガレン (グリム伊智子氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ 校舎 ■ 木造建築のオフィスビル ■ オフィスビル    
9/17(木) 	チューリッヒ (通訳兼コーディネーター) 滝川 薫氏	<ul style="list-style-type: none"> ■ 東スイスの木造会社見学 ■ 東スイスのミネルギー・P戸建ての新築と改修事例 ■ スイス漆喰 施工建築の視察  
9/18(金) 	ルツェルン (滝川 薫氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ リギ山とルツェルン湖 ■ スイス漆喰 施工建築の視察  
9/19(土) 	ベルン (滝川 薫氏)	<ul style="list-style-type: none"> ■ ミネルギー・P・エコ、リーベフェルトの木造3世帯住宅 ■ ミネルギー・P・エコ、オーバーフェルトの木造集合住宅(ゼロ熱エネルギー) ■ ミネルギー・P戸建て改修 ■ スイスの建物省エネルギー化政策についてのレクチャー 案内: ペーター・シュルヒ教授 (Halle 58 設計事務所所長、 ベルン州立大学建築学科教授)   
9/20(日)	チューリッヒ	■ チューリッヒ～成田・関西へ 21日(月)朝到着 成田・関西

※ツアープログラムは諸事情により変更する場合がございます。予めご了承ください。

South Germany & Switzerland Eco-bau Tour 2015 Tour coordinator Profile



ツアーコーディネーター&コンダクター
ホルガー・ケーニッヒ Holger König

1951年ミュンヘンに生まれる。ミュンヘン工科大学、および同大学院で建築を学ぶ。1983年エコロジー建材店および家具工場の「ホルツ・ケーニッヒ」を設立。また、妻とともにケーニッヒ=フェリケリウス建築設計事務所を主宰し、パウピオロジー・パウエコロジーを踏まえた住宅、幼稚園、学校を数多く手がける。建築家、家具職人、建材流通といった多様な経験を経て、1996年より「エコ・プラス社」を設立し、建材の品質認定およびコンサルタントに携わる。主な著書は「健康な住まいへの道 パウピオロジーとパウエコロジー」(建築資料研究社2003)、「断熱材とその利用法」、「小屋裏 空間」(1996, Freiburg)などがある。



環境ジャーナリスト
滝川 薫 (スイス ベルン州 在住)

スイス
Switzerland

環境ジャーナリスト、MIT Energy Vision社 共同代表。
1975年、日本・千葉県生まれ。東京外国語大学イタリア語学科卒業。1999年よりドイツ語圏スイスを拠点に環境・エネルギー・建築をテーマに取材、スイスや日本の専門誌へドイツ語および日本語で寄稿、多数の調査、視察セミナー、通訳・翻訳、講演活動を手掛ける。2012年にMIT Energy Vision GbR社を村上敦及び池田憲明と共同設立。視察やセミナー等を通じて、再生可能エネルギーと省エネルギーをテーマとして、欧州中部から日本へのノウハウトランスファーを行う。主な著書『サステナブル・スイス』(単著 2009、学芸出版社)、『100%再生可能へ!欧州のエネルギー自立地域』(編著 2012、学芸出版社)など

Tour Points

建物分野はスイスの脱原発・脱化石エネルギーを目指すスイスのエネルギー政策の最重要

の分野です。スイスの建物の省エネ化政策は三つの柱から成っています。80年代からの規制基準の段階的強化、90年代からの任意認証であるミネルギー基準、そして省エネ改修の促進です。こういった政策により建設市場の省エネ技術レベルが高められていきます。

今回の視察では、戸建てや小規模な集合住宅を中心としながら、様々な再生可能エネルギー技術を活用したミネルギー・P建築や、省エネ改修事例、そして環境のみならず社会面からも持続可能であることを目指す建築の事例を見ていきます。スイスの人の考える持続可能な建築を実際に体感し、設計者の方々と直接に意見交換することにより、参加者の皆さんのご活動への具体的な刺激として頂きたいと思っています。(滝川)

主催 第19回エコバウ建築ツアー 実行委員会

実行委員会事務局

株式会社 イケダコーポレーション

運営:株式会社 イケダコーポレーション

昨年までのエコバウツアー体験記はホームページをご覧ください

<http://www.iskcorp.com>